

2016年5月2日

報道関係各位

中部学院大学短期大学部  
社会福祉学科

短期大学部新入生 宿泊研修を開催

## 白川村で大自然に触れ、高齢者らと交流を深めます

中部学院大学短期大学部社会福祉学科（学長 片桐多恵子、学科長 吉川杉生）は新入生を対象とした宿泊研修（「つながレッツ白川 GO 2016」）を実施します。

本学と白川村は 2011 年に連携協定を結び、**▼地域の発展と住民生活に関する共同研究 ▼地域の生活文化と自然を生かした教育プログラムの開発 ▼村民に対する生涯学習機会の提供 ▼福祉を発展するための協力**などを進めています。

今回の研修は 1 泊 2 日の日程で、「つながる」をコンセプトに、白川村の大自然や生活に触れながら、仲間づくりや学生と教員のコミュニケーションを深めるほか、**地域の高齢者や園児らとの交流を深め、人間力を養います。**なお、今回の研修には介護人材確保に関する国の施策で入学した学生（※）も参加します。

### 記

- 日 時 社会福祉学科 2016年5月11日（水）～5月12日（木）
- 場 所 （宿泊先）岐阜県大野郡白川村馬狩 223 トヨタ白川郷自然学校  
（活動先）自然体験プログラム 同村馬狩（トヨタ白川郷自然学校）  
村内交流プログラム 同村荻町・鳩谷・平瀬
- 参加者 社会福祉学科 1年 約 60名（教職員除く）  
※ 国の実施する「職業訓練（介護福祉士養成科）」22名の学生（社会福祉学科）も参加します。
- 目 的 ・学生同士の仲間づくりや学生・教員間のコミュニケーションを深める。  
・地域社会との交流や自然体験などを通して 2年間の学内外での学びの視野を広げるきっかけとする。

■ 内 容

① 自然体験プログラムと学生交流（5月11日）

トヨタ白川郷自然学校周辺の自然散策と、学生実行委員が企画する新入生交流レクリエーション活動を実施する

② 村内交流プログラム（5月12日）

グループに分かれ、村内の婦人会との郷土料理づくり、老人クラブとのゲートボール大会、特別養護老人ホームや保育園交流など、高齢者や子ども、地域住民とのふれあいを通して地域社会の生活を学ぶ

■老人クラブ ゲートボール大会&茶話会

（10:00-12:00、鳩谷ふれあい体育館）

■ひまわり会 郷土食づくり体験（10:00-12:00、旧白川小学校）

■白川保育園 園児との交流会（10:00-11:30）

■じ・ば工房 ひで細工づくり体験（10:00-12:00）

■伝統的建造物/合掌家屋（遠山家）見学学習（10:00-12:00）

■瀬音さくら山荘 利用者との交流（10:30-12:30）

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 短期大学部 社会福祉学科（担当：吉川 杉生）TEL:0575-24-2211

大野郡白川村役場 村民課課長（担当：宮丸 和之）TEL:05769-6-1311